



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年7月28日

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社
コード番号 5481 URL <https://www.sanyo-steel.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 勝弘

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 柳本 豊

TEL 079-235-6004

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	104,052	5.9	8,783	3.7	9,282	9.5	6,880	13.1
2022年3月期第1四半期	110,605	108.5	8,471		8,473		6,081	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 11,547百万円 (26.2%) 2022年3月期第1四半期 9,148百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	126.28	
2022年3月期第1四半期	111.61	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	401,179	207,938	51.4
2022年3月期	377,911	198,845	52.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 206,044百万円 2022年3月期 196,994百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		45.00		45.00	90.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		45.00		30.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	191,500	4.5	9,500	8.6	10,000	4.7	7,000	4.0	128.47
通期	383,000	5.4	15,500	27.6	16,000	26.1	11,500	24.7	211.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	54,507,307 株	2022年3月期	54,507,307 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	19,574 株	2022年3月期	19,566 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	54,487,740 株	2022年3月期1Q	54,490,470 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。(業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。)

【添付資料】

(目次)

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
参考資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期(2022年4月1日～2022年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中、総じて持ち直しの動きがみられました。景気の先行きにつきましては、感染対策により経済社会活動の正常化が進む中、各種政策の効果もあり、持ち直しの動きが続くことが期待されるものの、ウクライナ情勢の長期化や原材料価格の上昇、金融資本市場の変動などが内外経済に与える影響に十分に注意する必要があるなど、不透明な状況にあります。

特殊鋼業界におきましては、建設・産業機械向けの需要は堅調に推移しましたが、半導体不足や中国の都市封鎖に伴うサプライチェーンの混乱を受けた自動車減産の影響などにより、特殊鋼熱間圧延鋼材の生産量は、前年同期を下回りました。

このような中、当社グループの売上高は、鉄スクラップサーチャージの適用等に伴う販売価格の上昇はありましたが、スウェーデンの連結子会社Ovakoの決算期変更影響(注)や自動車減産の影響などにより、前年同期比65億52百万円減の1,040億52百万円となりました。利益面では、鉄スクラップをはじめとする原燃料価格の上昇やOvakoの決算期変更影響はありましたが、鉄スクラップサーチャージの適用等に伴う販売価格の上昇やOvakoの収益改善などにより、経常利益は、前年同期比8億9百万円増の92億82百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比7億99百万円増の68億80百万円となりました。

(注) 2022年3月期よりOvakoの決算期を従来の12月から当社単独と同じ3月へ変更し、同社は2021年1月～2022年3月の15ヵ月決算を行いました。これにより、前年同期の連結決算値には、2021年1月～6月期の同社損益およびのれん償却費を織り込んでおり、そのうち、2021年1～3月期の同社損益(売上高303億83百万円、経常利益25億29百万円)およびのれん償却費▲6億72百万円を決算期変更影響としております。

当第1四半期損益の概要(2022年4月1日～2022年6月30日)

(単位:千t、億円、円/株)

	当第1四半期	前年同期	差引増減	増減率(%)
売上数量	440	672	-232	-34.6
(内、当社単独)	234	267	-33	-12.3
(内、Ovako)	177	370	-193	-52.1
(内、SSMI)	28	35	-7	-19.2
売上高	1,041	1,106	-66	-5.9
(内、当社単独)	479	401	+78	+19.4
(内、Ovako)	495	648	-153	-23.6
(内、SSMI)	50	44	+6	+14.4
営業利益	88	85	+3	+3.7
(内、当社単独)	22	33	-11	-33.3
(内、Ovako)	71	63	+9	+13.5
(内、SSMI)	▲1	2	-3	—
(内、のれん償却費)	▲7	▲13	+6	—
経常利益	93	85	+8	+9.5
(内、当社単独)	34	36	-2	-4.5
(内、Ovako)	73	61	+12	+19.0
(内、SSMI)	▲1	1	-3	—
(内、のれん償却費)	▲7	▲13	+6	—
税後利益(注4)	69	61	+8	+13.1
1株当たり税後利益	126.28	111.61	+14.67	+13.1
のれん償却費を除く営業利益	95	98	-3	-3.2
のれん償却費を除く経常利益	100	98	+2	+1.8
のれん償却費を除く税後利益	76	74	+2	+2.3
のれん償却費を除く1株当たり税後利益	139.41	136.30	+3.11	+2.3

(注1) 金額は億円未満を四捨五入しております。

(注2) 前年同期のOvakoの売上数量および損益、のれん償却費は、2021年1～6月実績を織り込んでおります。

- (注3) Mahindra Sanyo Special Steel Private Limited (MSSS)は、2022年6月23日付でSanyo Special Steel Manufacturing India Private Limited (SSMI)に商号変更しております。
- (注4) 親会社株主に帰属する四半期純利益。

セグメント別の売上高および営業損益の状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

鋼材事業

当第1四半期の売上高は、鉄スクラップサーチャージの適用等に伴う販売価格の上昇はありましたが、Ovakoの決算期変更影響や自動車減産の影響などにより前年同期比68億71百万円減の1,005億79百万円となりました。営業利益は、原燃料価格の上昇やOvakoの決算期変更影響はありましたが、鉄スクラップサーチャージの適用等に伴う販売価格の上昇やOvakoの収益改善などにより、前年同期比5億41百万円増の85億75百万円となりました。

粉末事業

当第1四半期の売上高は、自動車減産の影響はありましたが、産業機械向けの売上数量増加などにより、前年同期比1億98百万円増の12億69百万円となりました。営業利益は、売上数量の増加などにより、前年同期比95百万円増の2億84百万円となりました。

素形材事業

当第1四半期の売上高は、産業機械等の主要需要分野向け売上数量は減少したものの、販売価格の上昇などにより、前年同期比3億14百万円増の46億31百万円となりました。営業損益は、売上数量の減や鉄スクラップ等の原燃料価格の上昇、鉄スクラップサーチャージのタイムラグ影響などにより、94百万円の赤字(前年同期は2億26百万円の黒字)となりました。

その他

子会社を通じて情報処理サービスを行っており、当第1四半期の売上高は前年同期比22百万円増の2億24百万円、営業利益は2百万円の黒字(前年同期は8百万円の赤字)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産残高は、売上高の増加や、原燃料価格上昇に伴う売上債権や棚卸資産の増加などにより、前期末比232億67百万円増の4,011億79百万円となりました。負債残高は、商業・ペーパーの増加などにより、前期末比141億74百万円増の1,932億40百万円となりました。純資産残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や円安等に伴うその他の包括利益累計額の増加などにより、前期末比90億93百万円増の2,079億38百万円となりました。この結果、当第1四半期末におけるD/Eレシオ(純資産残高に対する有利子負債残高(現預金および関係会社預け金残高控除後)の割合)は0.38(前期末は0.30)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今年度当初に急騰した鉄スクラップ等の原材料価格は前回想定時よりも低下したものの円安の影響もあり依然として高位な水準にあります。また、Ovakoの収益改善等により足元までの業績は好調であ

るものの、今後については、半導体不足等による自動車の減産やウクライナ情勢の長期化、世界的なインフレ等による経済の減速が懸念され、当社グループの事業環境は厳しい状況が続くと想定されます。これらの状況をふまえ、2022年4月28日に公表しました2023年3月期通期の業績予想を次のとおり修正いたしました。

2023年3月期業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位:千t、億円、円/株)

	今回予想		前回予想(4/28公表)		増減	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上数量	816	1,640	—	—	—	—
(内、当社単独)	460	910	—	—	—	—
(内、Ovako)	305	615	—	—	—	—
(内、SSMI)	51	115	—	—	—	—
売上高	1,915	3,830	—	—	—	—
(内、当社単独)	945	1,880	—	—	—	—
(内、Ovako)	835	1,620	—	—	—	—
(内、SSMI)	99	245	—	—	—	—
営業利益	95	155	—	—	—	—
(内、当社単独)	35	70	—	—	—	—
(内、Ovako)	69	104	—	—	—	—
(内、SSMI)	▲2	3	—	—	—	—
(内、のれん償却費)	▲14	▲29	—	—	—	—
経常利益	100	160	—	140	—	+20
(内、当社単独)	50	85	—	—	—	—
(内、Ovako)	70	105	—	—	—	—
(内、SSMI)	▲3	0	—	—	—	—
(内、のれん償却費)	▲14	▲29	—	—	—	—
税後利益(注2)	70	115	—	—	—	—
1株当たり税後利益	128.47	211.06	—	—	—	—
のれん償却費を除く営業利益	109	184	—	—	—	—
のれん償却費を除く経常利益	114	189	—	—	—	—
のれん償却費を除く税後利益	84	144	—	—	—	—
のれん償却費を除く1株当たり税後利益	154.16	264.28	—	—	—	—

(注1) 金額は億円未満を四捨五入しております。

(注2) 親会社株主に帰属する当期純利益。

また、業績予想の修正に伴い、未定としておりました当期の配当予想につきまして、次のとおりいたしました。

2023年3月期配当予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

	中間配当	期末配当	年間配当
今回予想	45円/株	30円/株	75円/株

(注) 業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,483	10,681
受取手形、売掛金及び契約資産	69,019	74,664
電子記録債権	8,706	10,225
商品及び製品	26,761	32,418
仕掛品	58,088	62,432
原材料及び貯蔵品	28,661	33,963
未収還付法人税等	17	81
関係会社預け金	7,924	8,259
その他	7,196	9,943
貸倒引当金	△356	△444
流動資産合計	220,503	242,226
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	70,916	70,167
その他（純額）	41,058	43,076
有形固定資産合計	111,974	113,243
無形固定資産		
のれん	33,284	33,966
その他	4,102	4,009
無形固定資産合計	37,386	37,976
投資その他の資産	8,046	7,733
固定資産合計	157,407	158,953
資産合計	377,911	401,179
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,425	49,376
短期借入金	37,673	37,475
コマーシャル・ペーパー	12,001	29,999
未払法人税等	5,475	2,542
賞与引当金	2,167	1,104
環境対策引当金	3	3
その他	23,490	24,960
流動負債合計	130,237	145,463
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	19,324	19,384
役員退職慰労引当金	68	48
債務保証損失引当金	1	1
環境対策引当金	206	206
退職給付に係る負債	12,165	10,256
その他	7,063	7,879
固定負債合計	48,828	47,777
負債合計	179,066	193,240

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,800	53,800
資本剰余金	51,486	51,486
利益剰余金	85,732	90,161
自己株式	△28	△28
株主資本合計	190,991	195,420
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,382	1,390
繰延ヘッジ損益	2,134	2,955
為替換算調整勘定	4,119	6,286
退職給付に係る調整累計額	△1,633	△8
その他の包括利益累計額合計	6,003	10,624
非支配株主持分	1,850	1,894
純資産合計	198,845	207,938
負債純資産合計	377,911	401,179

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	110,605	104,052
売上原価	89,377	85,566
売上総利益	21,227	18,485
販売費及び一般管理費	12,756	9,702
営業利益	8,471	8,783
営業外収益		
受取利息	35	28
受取配当金	68	77
為替差益	—	463
受取賃貸料	161	66
その他	52	87
営業外収益合計	317	723
営業外費用		
支払利息	182	163
為替差損	63	—
その他	69	61
営業外費用合計	315	224
経常利益	8,473	9,282
特別利益		
固定資産売却益	43	0
投資有価証券売却益	92	—
特別利益合計	136	0
特別損失		
固定資産除売却損	22	83
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	23	83
税金等調整前四半期純利益	8,586	9,198
法人税、住民税及び事業税	1,033	1,911
法人税等調整額	1,396	462
法人税等合計	2,430	2,374
四半期純利益	6,155	6,823
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	74	△56
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,081	6,880

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	6,155	6,823
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△200	7
繰延ヘッジ損益	140	820
為替換算調整勘定	2,480	2,225
退職給付に係る調整額	528	1,625
持分法適用会社に対する持分相当額	43	44
その他の包括利益合計	2,992	4,723
四半期包括利益	9,148	11,547
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,008	11,501
非支配株主に係る四半期包括利益	140	46

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	鋼材	粉末	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	105,186	1,070	4,316	110,573	31	110,605	—	110,605
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,264	—	—	2,264	171	2,435	△2,435	—
計	107,451	1,070	4,316	112,838	202	113,041	△2,435	110,605
セグメント利益 又は損失(△)	8,033	188	226	8,449	△8	8,440	30	8,471

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業であります。
 2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	鋼材	粉末	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	98,129	1,269	4,631	104,030	22	104,052	—	104,052
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,450	—	0	2,450	202	2,652	△2,652	—
計	100,579	1,269	4,631	106,480	224	106,705	△2,652	104,052
セグメント利益 又は損失(△)	8,575	284	△94	8,764	2	8,767	15	8,783

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業であります。
 2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

参考資料

2023年3月期 第1四半期決算発表

1. 当第1四半期の業績と業績予想

(単位：千t、億円、%)

	当第1四半期 (実績)	前第1四半期 (実績)(※2)	増減	増減率	業績予想(※1)	
					第2四半期 累計期間	通期
売上高	1,041	1,106	△66	△5.9	1,915	3,830
(内、当社単独)	479	401	78	19.4	945	1,880
(内、Ovako)	495	648	△153	△23.6	835	1,620
(内、SSMI)	50	44	6	14.4	99	245
営業利益	88	85	3	3.7	95	155
経常利益	93	85	8	9.5	100	160
(ROS)	(8.9)	(7.7)	(1.2)		(5.2)	(4.2)
(内、当社単独)	34	36	△2	△4.5	50	85
(内、Ovako)	73	61	12	19.0	70	105
(内、SSMI)	△1	1	△3	—	△3	0
(内、のれん償却費)	△7	△13	6	—	△14	△29
親会社株主に帰属する 当期純利益	69	61	8	13.1	70	115
売上数量	440	672	△232	△34.6	816	1,640
(内、当社単独)	234	267	△33	△12.3	460	910
(内、Ovako)	177	370	△193	△52.1	305	615
(内、SSMI)	28	35	△7	△19.2	51	115
設備投資	36	31	5	17.7		140
減価償却費	34	52	△18	△34.2		145

(※)1. 予想(7月以降)の主要前提：鉄スクラップ(姫路地区H2市況) 50.0千円/t、原油(ドバイ)100\$/BL、為替 140円/\$、140円/€

2. 前第1四半期のOvakoの売上数量および損益、のれん償却費は、2021年1~6月実績を織り込んでおります。

(参考) 四半期業績推移

(単位：千t、億円、%)

	2022年3月期					2023年3月期
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期	4-6月期
売上高	1,106	727	860	939	3,633	1,041
営業利益	85	19	40	70	214	88
経常利益	85	20	40	71	217	93
(ROS)	(7.7)	(2.8)	(4.7)	(7.6)	(6.0)	(8.9)
親会社株主に帰属する 当期純利益	61	12	29	51	153	69

2. 当第1四半期の経常利益増減要因 (対前年同期)

(単位：億円)

増 益 要 因		減 益 要 因	
1. 販売価格・構成	106	1. 原燃料価格	82
2. 単独営業外損益	9	2. 諸資材・外注・物流費等	15
3. Ovako経常利益	37	3. 販売数量	12
		4. 修繕費	5
		5. 固定費	3
		6. 連結子会社経常利益等	9
		7. Ovako決算期変更影響	18
計 (A)	152	計 (B)	144
		差引 (A) - (B)	8